

# 第3学年市民科学学習指導案

平成○年○月○日  
○年○組児童数○名  
指導者○○○○

## 1. 単元名 「めざせ発表名人」

## 2. 単元の目標

- 京陽小読書100選の紹介を、わかりやすく発表する。
- プログラミングの方法を理解して、電子ポスターを作る。

## 3. 単元の評価規準

市民科の評価規準

関心・意欲・態度	伝える力
・自分で考えた方法で、進んで発表しようとしている。	・本を読んで、楽しかったところや心に残ったことをわかりやすく伝えることができる。

プログラミング学習の評価規準

論理思考力	プログラミングの技能
・順序立てて、ブロックを組み、目的にあったプログラムを作成する。	・カーソルを動かすと、言葉が出てくる、文字を工夫して動かすなどのプログラミングができる。

## 4. 単元観（プログラミング学習との関連）

本単元は、学習したことを発表するには、いろいろな表現方法があることを知り、進んで活用しようという単元である。3年生では、調べたことや学んだことを、紙芝居、ポスター、ポスターセッションなどの方法で発表してきた。本学習では、新たな方法として、簡単なプログラミングでデジタルポスターを作成する。昨年度、上級生が作ったデジタルポスターを見て、興味を持っているので、自分たちで作り上げるという学習には進んで取り組めると考える。

## 5. 児童の実態

パソコンの起動や簡単な操作は、ほとんどの児童ができる。昨年度は、基本的なマウス操作や、プログラミングをして、キャラクターを動かすという学習をしてきた。3年生では、ローマ字入力を習得し、一人一人が、デジタルポスターを作ることを目指している。1学期に、「迷路づくり」をしてゴールをすると「おめでとう」など画面に簡単な言葉がでるプログラミングをした。2学期に「社会科」の学習では、工場見学に行ったことを、グループで簡単なデジタルポスターを作成した。この単元では、自分なりに工夫してプログラミングで、一人一人がデジタルポスターを作り、効果的な発表方法の一つとして習得することを目指している。

## 6. 研究主題に迫るための具体的な手立て

(1) 論理的思考力の育成

自分のお気に入りの本をわかりやすく紹介するための発表原稿を作り、その発表に適した、デジタルポスターを試行錯誤しながら作る過程は、論理的思考力を高めることができると考える。

(2) 文化的創造力の育成

読書活動と連動させ、紹介したいお話の内容や、聞き手の興味を引き付けるようなポスターを3年生で学んできた、ローマ字入力、活字の効果的な表し方（回転させる、スクロールして文字がでてくるなど）を活用して自分なりに工夫して作り上げる学習は、児童の創造力を広げることにつながると考える。

(3) コミュニケーション力の育成

プログラミングを作成過程では、グループを作り、わからないことを聞きあう、自分が工夫したことを伝え合う、グループの中で発表するなどの学習を取り入れていく。自分の思いを伝える場を作ることにより友達と共働していく力が育つと考える。

(4) 表現力の育成

ポスターにして伝えるためには、本の内容を理解していること、聞き手の立場になって考えることが大切である。聞き手が興味を持つようなデジタルポスターを一つ一つの言葉を吟味しながら作成すること、わかりやすい原稿を作り発表することは、表現力を高めていくことにつながると考える。

7. 学習指導計画（7時間扱い）

次	時数	学習内容	指導上の留意点	☆支援◇評価【評価方法】
ステップ 1 2	1	<p>○自分が行ってきた発表の仕方について、課題を把握する。</p> <p>○自分が紹介したい本の紹介文を書き、その内容にあったデジタルポスターを作り、わかりやすく発表することを知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○デジタルポスターの作り方を理解する。</p>	<p>・発表名人の心得を伝える。</p> <p>・学んできたプログラミングの方法を振り返らせる</p>	<p>◇学習内容を知り、見通しを持てる 【学習カード】 ☆教師の見本を見せることにより、より学習の見通しを立てやすいようにする。</p> <p>◇デジタルポスターの作り方を理解できる。【観、発表】 ☆スクラッチノートを活用させる。</p>
ステップ 3 4	2 3	<p>○本の内容や、自分が一番心に残ったことなど、伝えたいことを発表原稿にまとめる。</p>	<p>・目的や内容を確認し、聞き手にわかりやすいという視点を確認する。</p>	<p>◇視点にそった発表原稿を作っている 【原稿】</p>
	4 5	<p>○デジタルポスターを作成する。</p>	<p>・プログラミングを工夫しわかりやすい見る人の視点に立ったプログラミングをさせる。</p>	<p>◇内容にそったプログラミングをしている【プログラム】 ☆ペアでアドバイスをする時間を設定する。</p>
	6 本時 7	<p>○発表会をする。</p> <p>○発表を振りかえる。</p>	<p>・ペアで、相談、アドバイスなどをするように助言する。</p>	<p>◇発表名人を意識して、発表している。 【発表】</p>
ステップ 4		<p>○学習の成果を振り返り、他教科での発表に生かす。社会科の消防署見学のまとめでデジタルポスターを作成する。</p>	<p>○友達の記事でよかったことも自分の中に取り入れ作成させる。</p>	

8. 本時の学習（6／7時間）

(1) ねらい

- 京陽小読書百選の本をデジタルポスターを活用して紹介する。
- 友達の発表を見て、感想を伝え合う。

(2) 展開

	主な学習活動	指導上の留意点	☆支援◇評価（評価方法）
導入	1. 本時のめあてをつかむ。 発表名人の心得を確認する。		
展開	京陽小読書100選を紹介しよう		
	2. 発表練習をする。	・二人組で、発表練習をし、気づいたことを伝え合わせる。	◇目的をもって、発表練習ができる。【音読 観察】 ☆発表の心得を確認し、声の大きさ、話すスピードなどを工夫するように練習させる。 ☆グループで1台パソコンを用意する。
	3. グループで発表会をする。	・聞く視点を伝えてから発表させる。  ・8つのグループを編成する。	☆話す視点、聞く視点を明確にする。  ◇発表の構成、話し方に気をつけて発表している。 <b>【発表】</b>
	4. 感想を書き、全体で伝え合う。	・自分の発表、友達の発表の感想を書かせ伝えさせる。	◇友達の発表の感想を伝えることができる。 ☆友達の発表のよいところをわかりやすく伝えることができる。【学習カード】
まとめ	5. 学習の振り返りをする。		